

Maiko (Violin)

神戸市出身。3歳からバイオリンを始める。京都市立芸術大学音楽学部卒業。ジャズバイオリニスト寺井尚子氏に師事。アシスタントを務めながらジャズ・バイオリンの研さんに入り、2001年からの8年間で2,000回を超える圧倒的な数のライブパフォーマンスを行い、独自のジャズスタイルを確立する。第19回浅草Jazzコンテストでベストプレイヤー賞を受賞。2001年横濱ジャズプロムナード、ライブ・コンペティション本選大会で向井滋春賞を受賞。2009年9月、洗足学園音楽大学ジャズコース非常勤講師に就任。現在首都圏のライブハウスを中心に自身がリーダーのライブ活動をするとともに、Painting of Notes、The Tree of Life、Super Jazz Strings他、多くのバンドやセッションに参加。ジャズをベースに幅広いジャンルにおいて、音色の美しさと熱い演奏が身上。コンポーザーとしての才能も高く、歌心あふれるオリジナルナンバーは好評を博している。2015年5月、伴奏者のいない完全なソロバイオリンのライブを敢行、以降ライフワークとして取り組んでいる。リーダーアルバムとして2006<Trust Your Heart>2007<Glowing Colors - Live at Motion Blue yokohama>2010<Voyager>2012<Hope>2015<Donna Lee><The Duo><maiko meets 木住野佳子>2016<maiko trio live! 'Three'>2018<Solo>2021<Under The Moon>の10枚をリリースしている。また、青木カレンはじめボーカリストのサポートも数多く行い、2021年ボーカリストnoonとのユニットアルバム<Seasons>をリリース、他、参加作品多数。

山田貴子 (pianist,composer)

国立音楽大学ピアノ科を卒業後独学にてJAZZを学び、ボストン・バークリー音楽大学に奨学金を得て入学。卒業後はボストンやニューヨークなどでのライブ活動するも2011年のテロにより帰国し、日本での活動を拠点とする。日本ピアノ教育連盟オーディション奨励賞、全日本ソリストコンテスト奨励賞、浅草ジャズコンテストバンド部門銀賞、他受賞。リーダー作『Deep blue』『My story』『The Flow of Time』、他多数のアルバムに参加。全国好評発売中。中でも『The Flow of Time』はJazz page アクセスランクを二ヶ月連続1位、【傑作】と賞される。2012年より『須藤元気率いるWORLD ORDER LIVE』国際フォーラムやNHKホール・武道館でのコンサートに参加。2013年千葉市より千葉市芸術文化奨励賞を受賞。2015年、新たにヨーロピアンジャズを目指したtrioユニット【Trefarger】として2枚のCDをリリース。violin maikoとのユニット【Painting of Notes】としても活動を開始。2017年5月に初のソロピアノアルバム『Live at COLTEZ』を発売。現在好評販売中。2019年Keneeth Dahl KunsenとのJAPANカルテットにてNHK Sessionやジャズフェスに参加。TokyoBrassArtOrchestra、北條達子グループ他、首都圏を中心に活動中。近年ではJVAJ vocalワークショップにて、Cheryl Bentyne(Manhattan transfer)、Cathy segal Garcia他、世界的アーティストとも共演。2020年コロナ禍に於いてニュートリオアルバム【Remembrance -記憶-】を発売し国内ツアーを成功させる。